

財団の目的と事業・研究の領域

三菱グループにより設立された当財団は、調査・研究活動を通じて高齢社会の保健、医療、福祉等の課題解決をめざし、公益に寄与しています。

主な研究領域

健康

生きがい

経済

主な研究・調査活動（2024年度）

〔ダイヤ財団主管研究〕

- 科学的介護情報システムの質の評価手法に関する研究
- 高齢者福祉施設職員の防災・減災意識の向上に関する研究
- 高齢者施設における看取りケア支援プログラムに関する研究
- シルバー人材センターにおける安全就業対策の充実度評価および事故防止効果に関する共同研究事業
- 生きがい就業の介護予防効果に関する研究
- 仕事と介護の両立支援に関する研究
- 高齢者の Aging in place に寄与する住環境の研究

公益目的事業

主な普及・広報活動

講演会・シンポジウム等イベント開催

産学官民連携ネットワークの拡充

三菱グループ・リサーチ・モニター・プロジェクト

社会老年学文献データベース（DiaL）の運営

高齢者向けエアロビック「ダイヤビック」の普及

機関誌『Dia News』・調査報告書等の発行

ホームページによる情報発信

収益事業等

調査研究を通じて得られた知見、技術等を活用して行う受託事業

賛助会員関連団体が行う高齢者による社会貢献活動に対する協力及び支援